

＜現状と課題の整理の骨子案＞

○仮題：DV対策の今後の在り方

○骨子案と記載すべき事項

【骨子案】	【記載事項】
はじめに	○検討の背景事情 ○DVの現状
I これまでの取組等 これまでの取組、近時のDVをめぐる動き	○DV法の制定～令和元年度法改正、最近の事業（パイロット事業等） ○コロナ下における対応（DV相談プラス等）
II DV対策の個別論点に係る現状	○現状の制度や取組（地方自治体含む） ○諸外国の制度や取組 ○他の検討の場における検討結果（加害者プログラムについて等） ○他の法令（ストーカー規制法、売春防止法）との比較や関係性 ○委員意見（その他の論点を含む）
1 通報対象となる暴力の形態と保護命令の申立てが可能となる被害者の範囲	
2 加害者更生のための指導及び支援の在り方	
3 DV対応と児童虐待対応の連携	
4 被害者の保護・自立支援や民間シェルターとの連携について	
5 逃げられない／逃げないDV対応について	
6 その他	
III 今後の課題	○委員意見、有識者ヒアリング等を踏まえた、今後の課題について ※附則検討条項に関する検討 ※DV防止法の限界 ※児童虐待対応に関する取組 ※民間シェルター支援に関する取組 等
おわりに	

DV対策について検討を進めていく主な論点

① 通報及び保護命令の申立てが可能となる被害者の範囲の拡大

(附則検討条項)

② 加害者更生のための指導及び支援の在り方 (附則検討条項)

③ DV対応と児童虐待対応の連携

④ 被害者の保護・自立支援や民間シェルターとの連携について

⑤ 逃げられない／逃げないDV対応について

⑥ その他

女性に対する暴力に関する専門調査会における DV対策に関する議論

(これまでの議論)

【第104回】令和2年2月14日（金）

DV対策について

- ・委員によるDV対策についての意見交換

【第107回】令和2年7月29日（水）

DV対策の今後の方向性について

- ・有識者ヒアリング
（お茶の水女子大学 戒能民江名誉教授）

【第108回】令和2年9月8日（火）

DV対策の今後の方向性について

- ・専門調査会委員によるヒアリング
（阿部委員、可児委員、中村委員、納米委員、原委員）

【第109回】令和2年9月30日（水）

DV対策の今後の在り方について（諸外国のDV対策について）

- ・有識者ヒアリング
（神奈川大学 井上匡子教授、関西福祉科学大学 松村歌子准教授、
大阪工業大学 高田恭子准教授、北海道大学 李妍淑客員研究員）

【第110回】令和2年10月28日（水）

DV対策の今後の在り方について

- ・地方公共団体へのヒアリング（北海道庁、名古屋市役所、野田市役所）
- ・全国女性シェルターネットへのヒアリング

【第111回】令和2年11月26日（木）

DV対策の今後の在り方について

- ・関係省庁ヒアリング（警察庁、法務省、厚生労働省）

【第112回】令和2年12月23日（水）

DV対策の今後の在り方について

- ・報告書骨子案について